



報道機関各位

令和 5 年 1 月 31 日
北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課

エネルギー需要のひっ迫時に電力需要量を調整できる エネルギーマネジメントシステムの実証について

本市は、第三者所有方式で導入した空調機や EV 等をまとめて遠隔から制御し、エネルギー需要のひっ迫時に電力使用量を調整するエネルギーマネジメントシステムの実証を以下のとおり行います。

この取組みは、国が進めている「節電プロジェクト」で実施している、小売電気事業者がエネルギー需要のひっ迫等の状況を踏まえ、デジタル技術を活用して電力利用者へ電力の需要状況に応じたタイムリーな節電（ディマンド・レスポンス）を行うことを目的としています。

実証で利用する EV 充放電器を使った実証内容について、報道機関向けの説明会を下記のとおり実施しますので、ご参加ください。

記

1 実証の概要

(1) 実証スケジュール

令和 4 年度 実証に向けた準備と調整

令和 5 年度 準備のできた施設から順次、実証開始 等

令和 6 年度 エネルギーマネジメントシステムの事業開始

(2) 実証項目

- ・ 30 分ごとの出力制御量の分析
- ・ エネルギーマネジメントシステムの効果検証
- ・ 事業採算性の評価 など

2 実証説明会の実施

(1) 実施日時 令和 5 年 2 月 7 日（火） 15 時～

(2) 場 所 北九州市エコタウンセンター（北九州市若松区向洋町 10 番地 20）

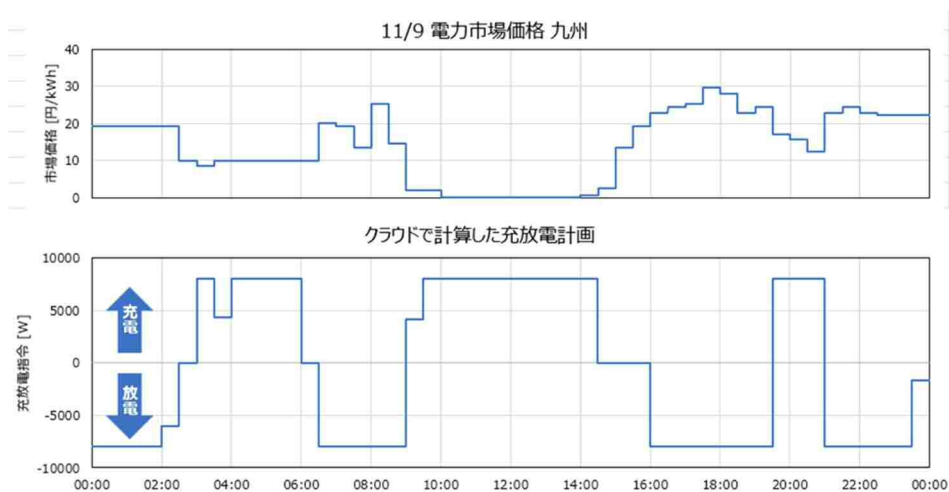
(3) 参 加 者 北九州市、ダイキン工業株式会社、東京センチュリー株式会社、
株式会社 Yanekara、九州工業大学

※当日は、実証で利用する EV 充放電器やエネルギーマネジメントシステムの充放電計画や電力価格予測モデルの予測結果などのデータを参照しながら説明を行う予定です。

3 添付資料

- 実証の概要

(目的、実証参加者と役割、
概要等)



EV の充放電計画



実証で利用する EV 充放電器



充放電器に接続した EV

問合せ先

北九州市環境局

再生可能エネルギー導入推進課

担当：塩田、柿木 TEL：093-582-2238

1 エネルギーマネジメントシステムと実証の目的

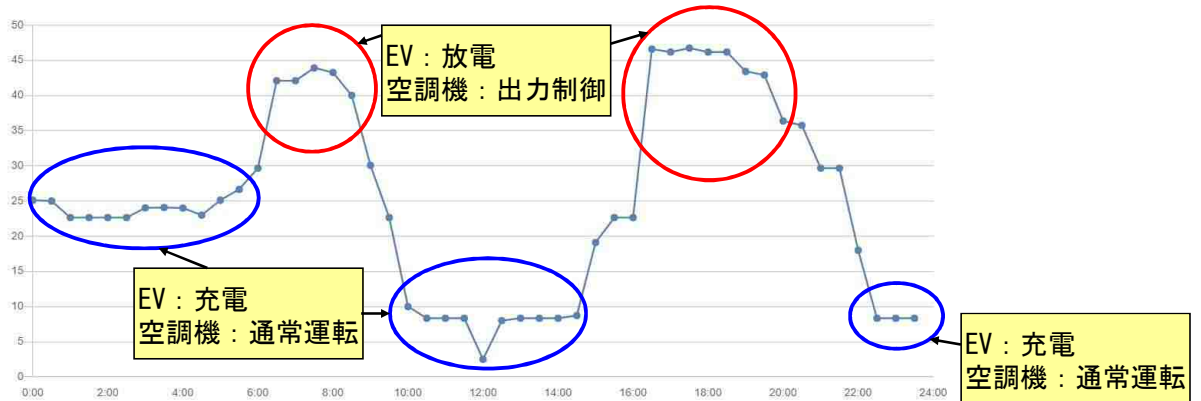
【エネルギーマネジメントシステムの目的】

- ・ 国際的なエネルギー価格高騰の影響を受けて電力価格が高騰している中、空調機やEVを1日の電力市場価格に連動した制御（ディマンド・レスポンス）を行い、小売電気事業者の電力仕入れ価格を低減することで、需要家の電気料金削減を目指すとともに電力安定供給にも寄与する。

【実証の目的】

- ・ 上記エネルギーマネジメントシステムの実証により、電力制御量、小売電気事業者の仕入れ価格低減量、需要家の電気料金削減量を明確にする。
- ・ エネルギーマネジメントシステムの事業化に向けた事業性評価を行う。

制御イメージ

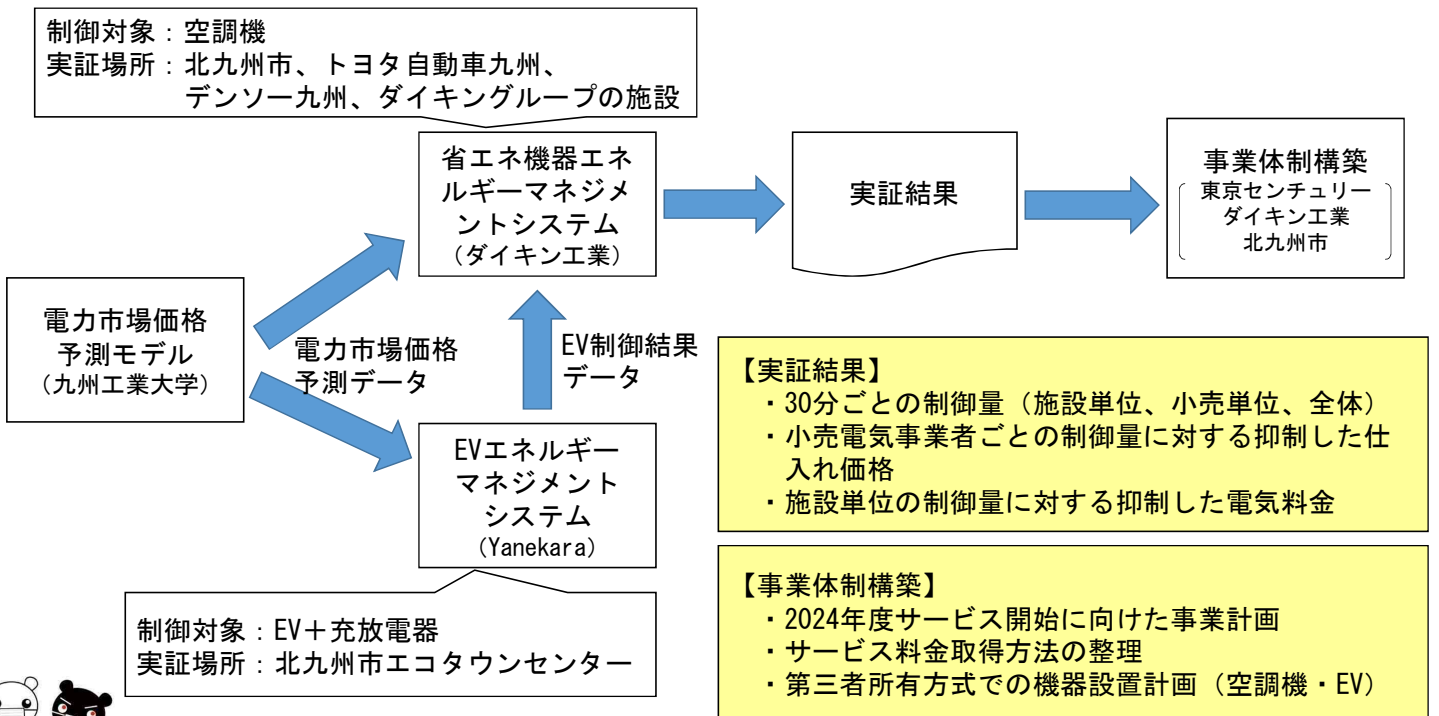


JEPX価格予測結果

環境局再生可能エネルギー導入推進課



2 実証の概要図



環境局再生可能エネルギー導入推進課



3 実証の参加者と役割

No	組織名	役割
1	北九州市	実証に関する全体調整、 第三者所有方式での機器導入の推進、実証施設の提供
2	ダイキン工業	空調機等のエネルギーマネジメントシステムの構築、 データ取得・分析、制御用機器の設置、事業体制の構築
3	東京センチュリー	事業体制の構築、第三者所有方式での機器導入の推進
4	Yanekara	EV+充放電器のエネルギーマネジメントシステムの構築、 データ取得・分析
5	トヨタ自動車九州	実証施設の提供
6	デンソー九州	実証施設の提供
7	九州工業大学	電力市場価格予測モデルの構築



4 今後のスケジュール

令和4年度

- ・ 実証に向けた準備と調整

令和5年度

- ・ 準備のできた施設から順次、実証開始
- ・ 実証データを基にした事業採算性評価の実施
- ・ 事業体制の構築
- ・ 第三者所有方式での空調機、EV等の導入促進

令和6年度

- ・ エネルギーマネジメントシステムの事業開始

